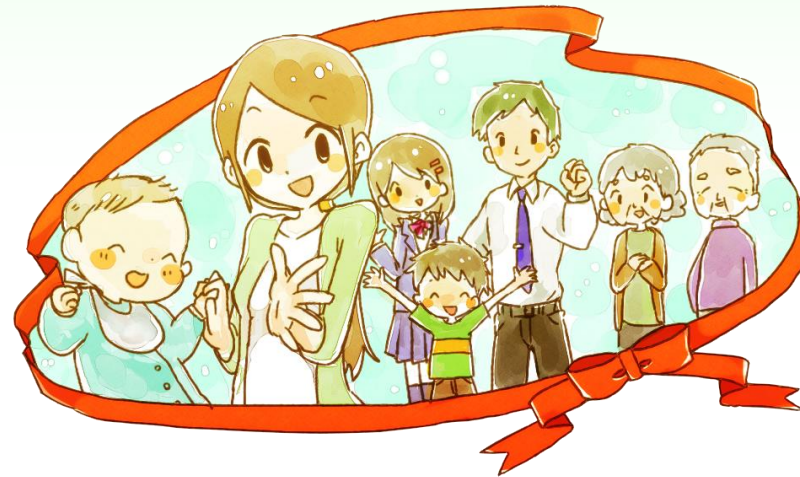


# 平成30年度母子保健の 重点的な取り組み，成果及び課題並びに 令和元年度の重点的な取り組みについて

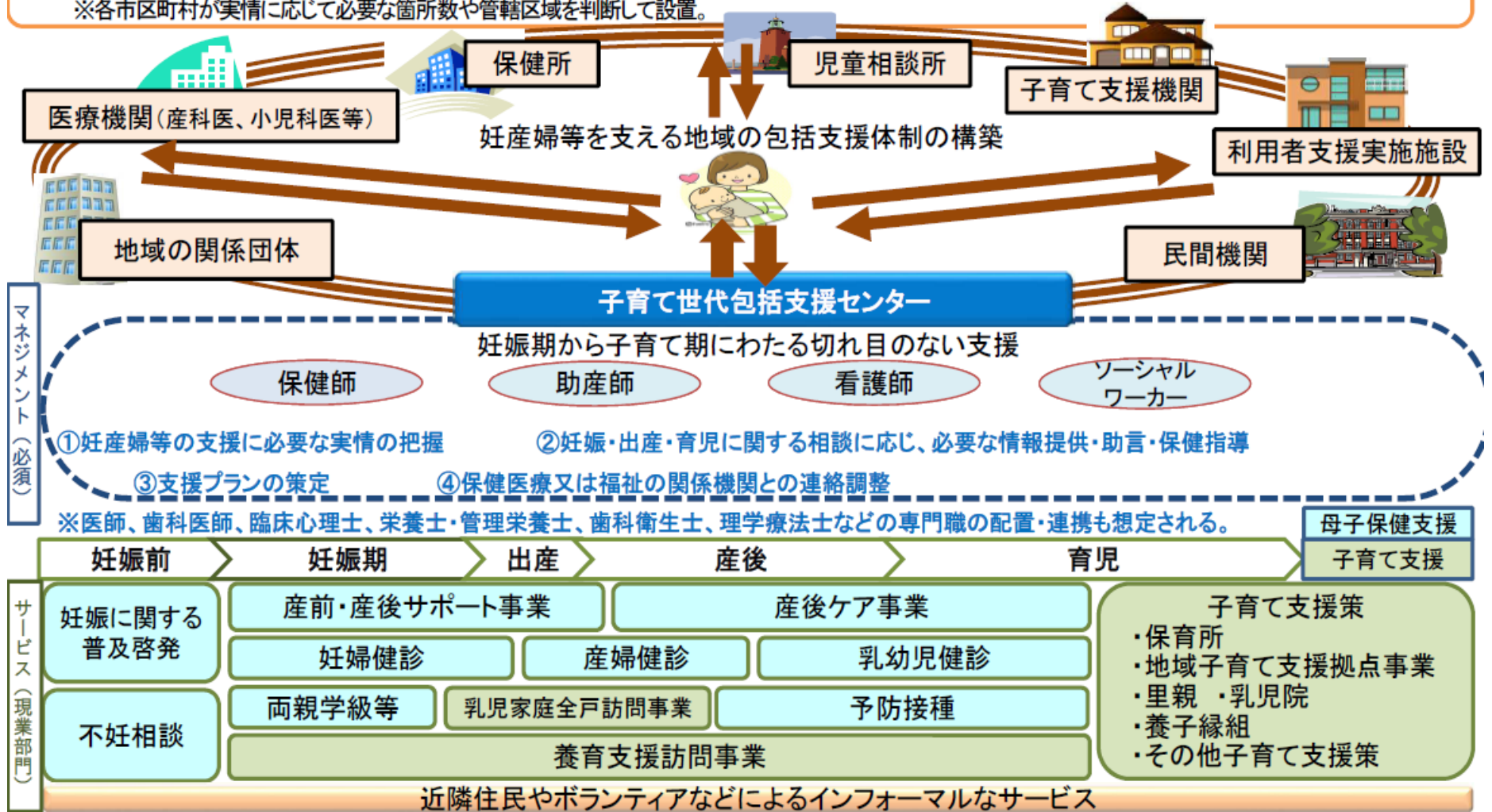


令和元年度第1回柏市保健衛生審議会母子保健専門分科会資料  
(令和元年8月8日)

柏市保健所 地域保健課

# 子育て世代包括支援センターの全国展開

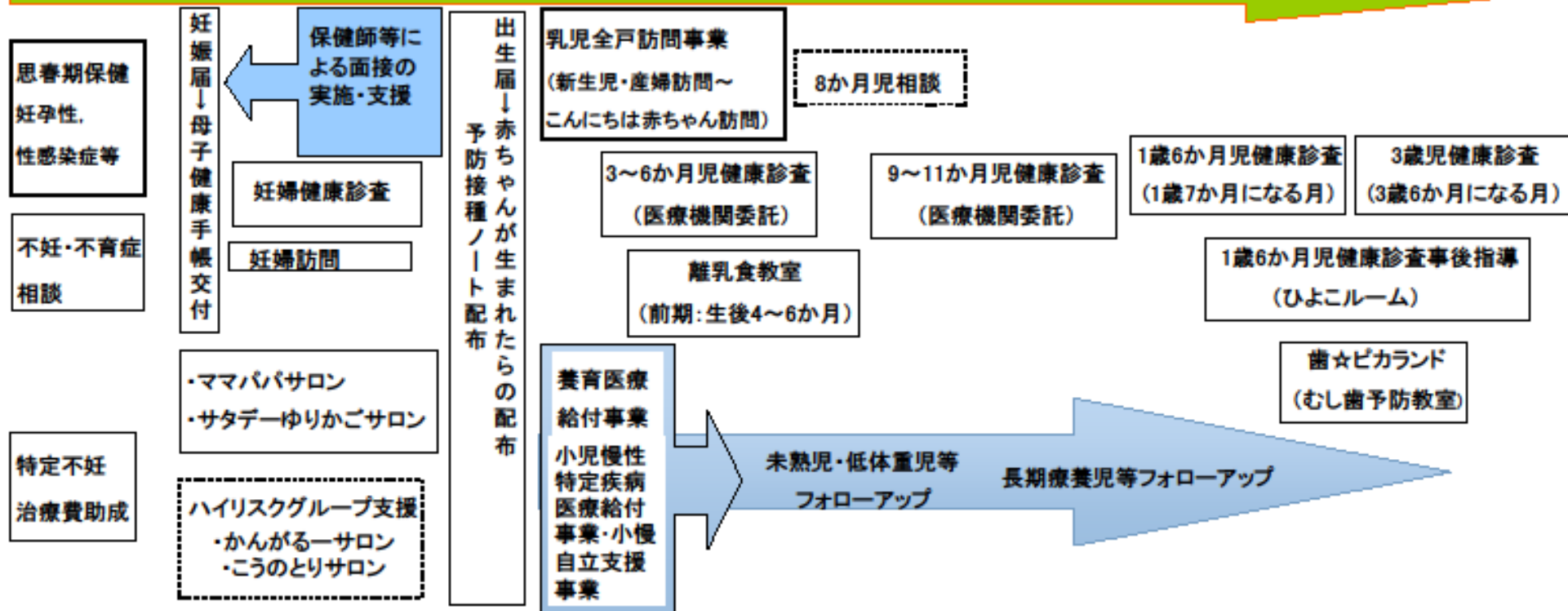
- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターに保健師等を配置して、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
- 母子保健法を改正し、子育て世代包括支援センターを法定化(平成29年4月1日施行)(法律上は「母子健康包括支援センター」)。
  - 実施市町村数:525市区町村(1,106か所)(平成29年4月1日現在) ➢ 平成32年度末までに全国展開を目指す。
  - ※各市区町村が実情に応じて必要な箇所数や管轄区域を判断して設置。



## 柏市の母子保健体系

妊娠前      妊娠期      誕生      新生児期      3～4か月      5～6か月      7～8か月      新生児期～就学前(子育て期)      9～10か月      11か月      1歳      1歳6か月      2歳      3歳      4歳～      小学生

妊娠子育て相談センター(子育て世代包括支援センター)・駅前すこやかプテルーム・子育て専用ダイヤル「にこにこダイヤルかしわ」



柏市民健康づくり推進員活動

地域ぐるみ子育て支援事業(母と子のつどい)

個別予防接種

こども福祉課 産後ケア・養育支援訪問

# 平成30年度の重点的な取り組み

## 1. 妊娠子育て相談センター(子育て世代包括支援センター)の増設

⇒駅前すこやかプチルームの開設

(身長体重測定等の相談対応, ハイリスクグループ群を対象とした交流支援を実施)

⇒母子保健コーナー(柏市役所内)を, 妊娠子育て相談センターとして位置づけ,

4箇所の子育て相談センターを設置

(転入手続き時の母子保健相談ニーズへの対応, こども部関係課との連携支援の強化)

⇒子育て応援プランの実施(個別ニーズに応じたハイリスク支援プランの作成検討)

## 2. 母子保健事業【拡充】

⇒従来の母親学級の見直しを行い, ハイリスクグループ支援を開始

⇒8か月児相談事業の実施(乳児期における相談支援の強化)

## 3. 災害時母子支援に関する啓発【新】

⇒「あかちゃんとママを守る防災ノート」による啓発, 災害時に求められる母子保健について職員研修実施

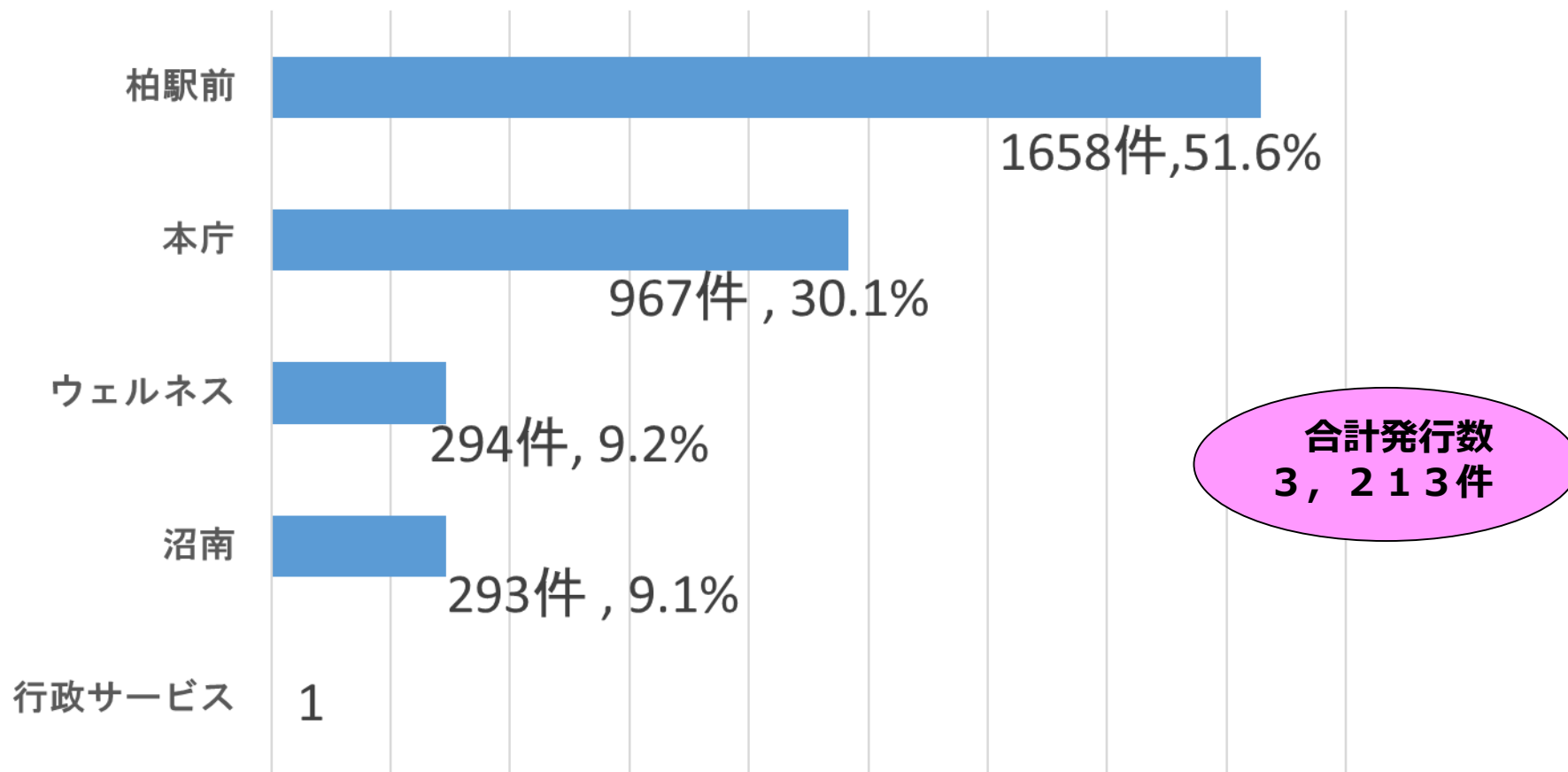
平成30年度の重点的な取り組み

# 1. 妊娠子育て相談センターの増設 (子育て世代包括支援センター)



# 平成30年度母子健康手帳場所別発行数

図1



H30年度は母子手帳発行数の半数以上が柏駅前での発行であった。

# 妊娠届出時の専門職による面談率

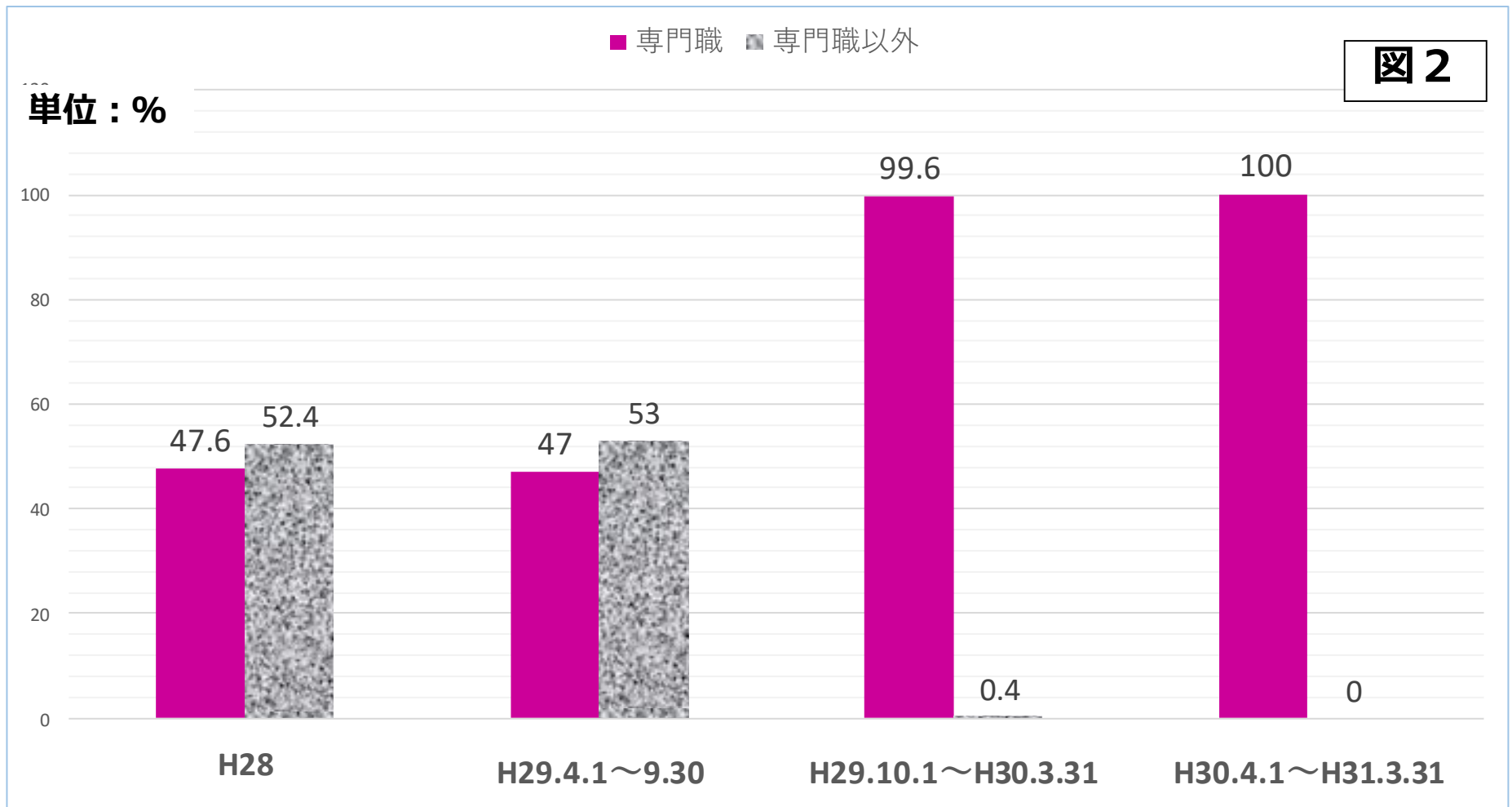


図2

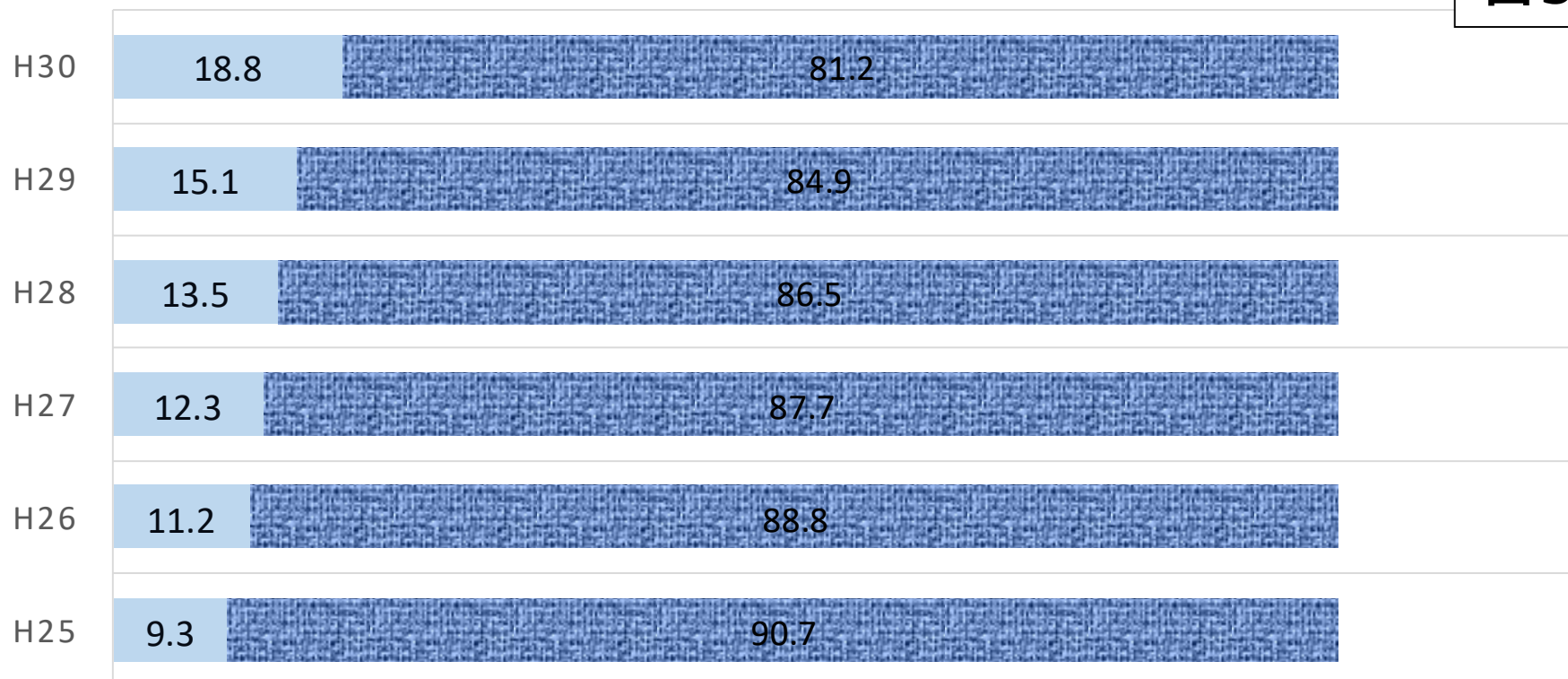
【保健師による面談率】  
H28年度：47.6%  
H29年4月～9月：47.0%    H29年10月～H30年3月：99.6%  
H30年度：100%



# 妊娠届出時におけるハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）の割合

■ ハイリスク妊婦の割合 単位：%

図3



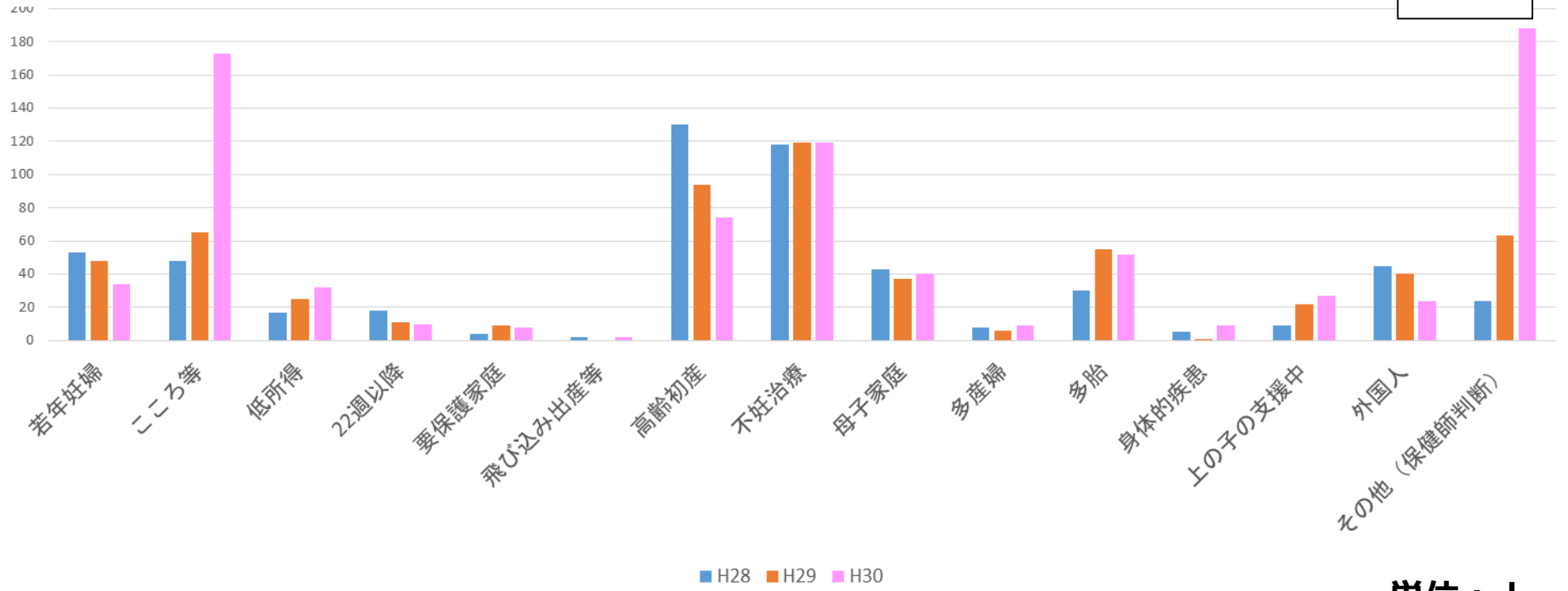
【H30年度】ハイリスク妊婦(特定妊婦を含む)の割合:18.7%  
⇒保健師・助産師による全数面接及び妊娠届出書改定により、ハイリスク妊婦(特定妊婦を含む)の割合は増加している。



# ハイリスク妊婦(特定妊婦を含む) の経年変化 (転入者含む)

単位：人

図4



単位：人

	若年妊婦	こころ等	低所得	22週以降	要保護家庭	飛び込み出産等	高齢初産	不妊治療	母子家庭	多産婦	多胎	身体的疾患	上の子の支援中	外国人	その他(保健師判断)	合計
H28	53	48	17	18	4	2	130	118	43	8	30	5	9	45	24	554
H29	48	65	25	11	9	0	94	119	37	6	55	1	22	40	63	595
H30	34	170	31	10	8	2	87	118	41	10	69	10	28	23	183	824

# 平成30年度ハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）

特定妊婦	若年妊婦：届出時10歳代	34人	(延人数, 転入含む)
	こころ, 知的の問題あり(精神疾患の既往歴含む)	170人	
	低所得者	31人	
	妊娠22週以降の届出	10人	
	支援中の要保護家庭からの妊娠届出	8人	
	飛び込み出産・墜落分娩・助産指導なしの自宅分娩	2人	
		特定妊婦 実人数 244人	
ハイリスク妊婦	高齢初産：届出時39歳以上	87人	ハイリスク妊婦 実人数 420人
	不妊治療による妊娠であり, 35歳以上の初産婦	118人	
	母子家庭となるもの	41人	
	多産婦：分娩経験5回以上	10人	
	多胎	69人	
	身体的疾患あり(医療管理されていないもの)	10人	
	上の子の発達や疾病で支援中の家庭	28人	
	外国人	23人	
	その他(保健師判断)	183人	
合計	(延べ人数)	824人	全体 実人数 664人

表1

# 平成30年度ハイリスク妊婦（特定妊娠を含む）

表2

特定妊婦	若年妊婦：届出時10歳代	26人	(延人数, 転入除く)
	こころ, 知的の問題あり(精神疾患の既往歴含む)	153人	
	低所得者	28人	
	妊娠22週以降の届出	9人	
	支援中の要保護家庭からの妊娠届出	7人	
	飛び込み出産・墜落分娩・助産指導なしの自宅分娩	2人	
			特定妊婦 実人数 216人
ハイリスク妊婦	高齢初産：届出時39歳以上	79人	
	不妊治療による妊娠であり, 35歳以上の初産婦	111人	
	母子家庭となるもの	36人	
	多産婦：分娩経験5回以上	10人	
	多胎	65人	
	身体的疾患あり(医療管理されていないもの)	10人	
	上の子の発達や疾病で支援中の家庭	27人	
	外国人	22人	
	その他(保健師判断)	168人	
			ハイリスク妊婦 実人数 388人
			全体 実人数 604人
合計	(延べ人数)	753人	

# 妊娠子育て相談センターの役割



## 主な業務

- ・ 母子健康手帳の交付
- ・ 母子保健事業のご案内
- ・ 妊娠・出産・産後の相談
- ・ 子育てに関する相談

**妊娠子育て応援プランを作成**  
妊娠期・子育て期の皆様に必要な  
支援を一緒に作成

2019年度版  
**妊娠子育て応援プラン**



妊娠子育て応援プランとは・・・  
妊娠期・子育て期の皆さまが「自分たちに必要な支援は何か」を考えながら作成する応援プランです。妊娠・子育て中に利用できる公的サービスや相談先などを紹介します。ぜひご利用ください。

地域保健課 ☎04-7167-1257  
あなたのお住まいの地域は \_\_\_\_\_ 地域です。  
地域担当保健師は \_\_\_\_\_ です。

**柏市** 2019年3月作成

## 妊娠届出時における対応

- ❖目標1：妊娠中の健康管理ができる
- ❖目標2：出産の準備ができる
- ❖目標3：相談先を知ることができる

### \* 母子健康手帳の説明・支援内容説明

主体的な手帳の活用を提案する

### \* 子育てケアプランの説明

「自分たちに必要な支援は何か」考えてもらう

### \* こころの健康チェック

精神障害のハイリスク妊婦を抽出するため、包括的質問にてリスクを有するのか、スクリーニングを実施する

- ◎ 2項目質問法
- ◎ GAD-2質問







# 駅前すこやかプチルームの開設



平成30年10月から、身長・体重測定や子育て情報の閲覧ができ、気軽に相談できるよう柏駅前に開設

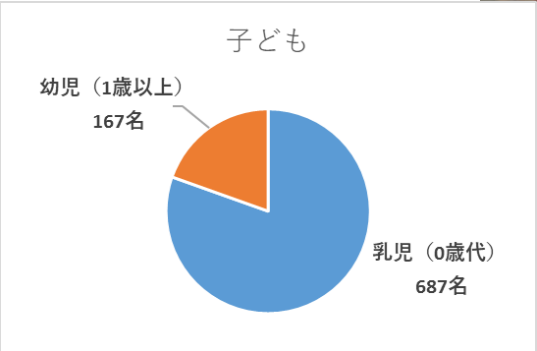
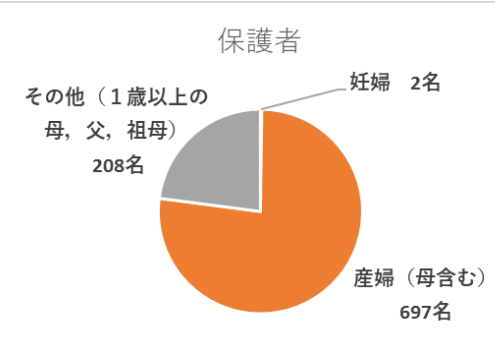
**【H30.10~H31.3の集計】**

合計来所者数	1761人
合計来所組数	830組
平均来所組数 (1日)	11.7組
(午前)	5.0組
(午後)	6.7組



**図5**

**【来所者内訳】**





柏市妊娠子育て相談センター プチ

# 駅前すこやかルーム

ファミリかしわにOPEN♡

柏市では、妊娠・出産・育児というライフサイクルを女性やその家族がより健やかに笑顔で過ごせることを願い、妊娠子育て相談センター柏駅前に隣接した「駅前すこやかプチルーム」を10月1日より開所します。「こどもの体重が気になる」「授乳がうまくいって不安…」など小さなことでもお気軽にご相談ください。

多くの方のご利用をお待ちしております\*



H30年  
10月1日より

開所日：月・水・金曜日  
(祝日、振替休日、年末年始除く)  
開所時間：午前10:00～11:30  
午後2:00～4:00

## 駅前すこやかプチルーム はこんなところ

- 身長体重計測
- 健康育児相談(保健師・助産師等)
- 情報閲覧(母子保健・健康・子育て支援等)
- 予約不要

### 対象となる方

妊婦と乳幼児  
(パパやご家族も大歓迎！)

アットホームな  
空間です♪



- ※スペースの都合上、お待ちいただくこともあります。
- ※食事はファミリかしわ5階の授乳室をご利用ください。
- ※今後、開所日時の変更や臨時休館の可能性あります。ホームページ等でご確認ください。(検索ワード:はぐはぐ柏 駅前すこやかルーム)

柏市保健所 地域保健課  
TEL:04-7167-1257

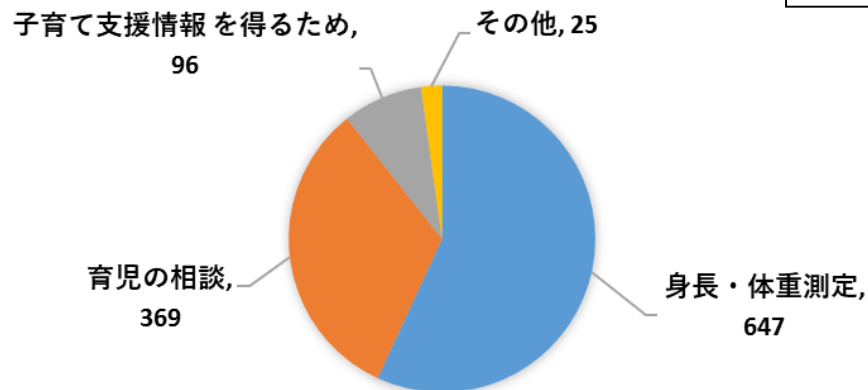


ファミリかしわ5階  
(柏駅前行政サービスセンター  
向かい)

平成30年10月

## 相談件数(H30.10月～H31.3月)

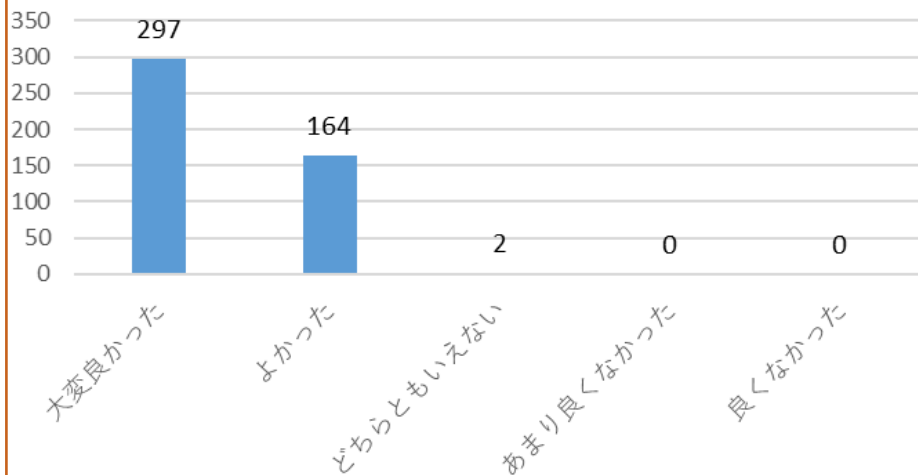
図6



## 感想

図7

(H30.10月～H31.3月アンケートより)



# 柏市妊娠子育て相談センターに関するアンケート（1）

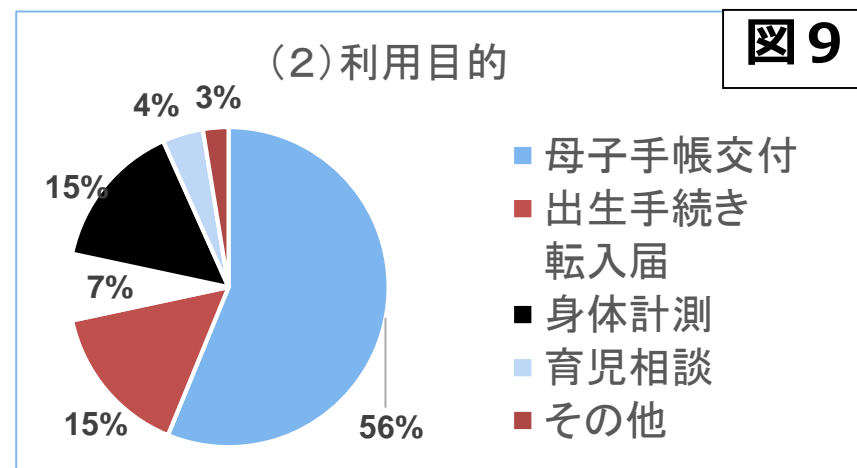
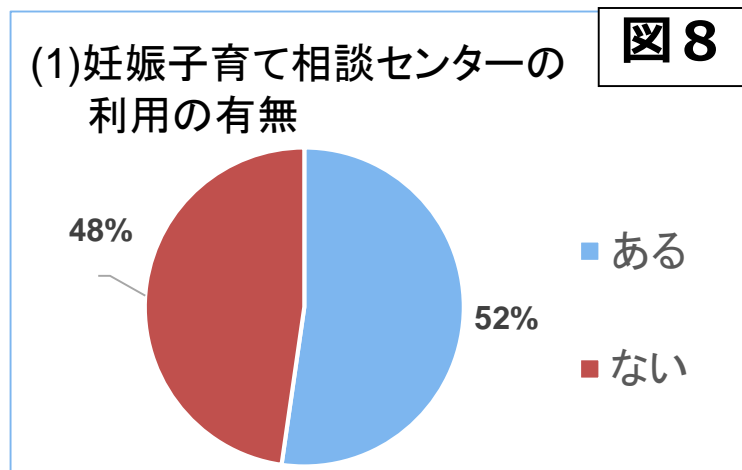
## 【集計方法】

- ・8か月児相談事業にて回収：H30.12月～H31.2月の計8回実施，回答者212人
- ・新生児訪問にて配布し後日郵送にて回収：H31.1月～H31.2月実施，回答者36人

## 【回答者】

- ・回答者の9割は母。児の人数は1人が47%，2人が42%，3人以上が11%。

## 【結果1】 センターの利用状況について

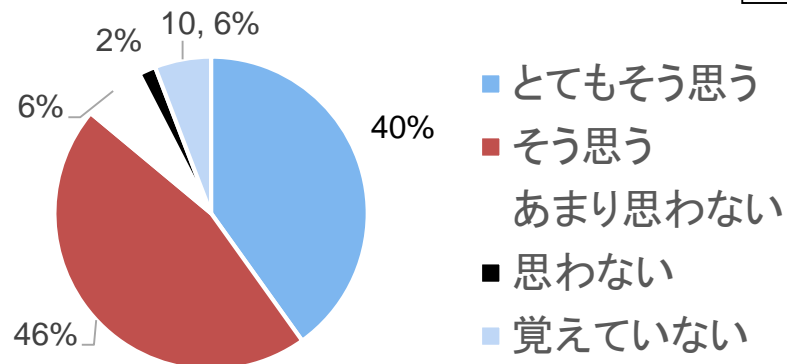


- ・センターを利用したことがあるものは52%。
- ・利用目的は，母子健康手帳交付が56%を占めていた。

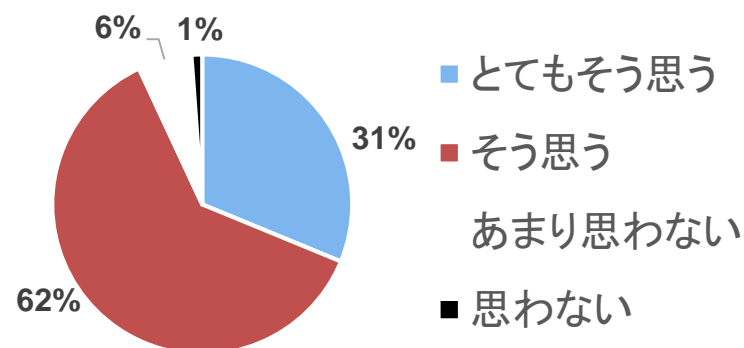
# 柏市妊娠子育て相談センターに関するアンケート（2）

## 【結果2】 センターの利用の満足度について

(1)センターで専門職に相談ができ安心したか **図10**

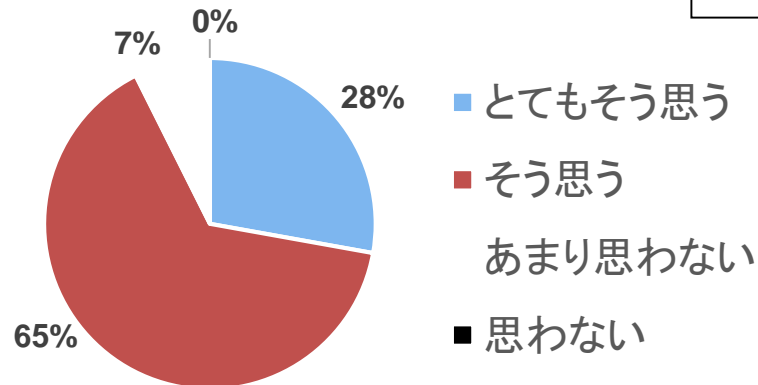


(2)今後もセンターを利用したいと思うか **図11**



## 【結果3】 今後の柏市での子育てについて

(1)今後も柏市で子育てをしていきたいか **図12**



結果2より、(1)専門職に相談できたことで86%の方が安心したと回答している。  
(2)今後もセンターを利用したいと思う方が、93%を占めており、満足度や今後の期待も高い結果となった。  
結果3より、今後も柏市で子育てをしていきたいと、93%の方が回答している。

平成30年度の重点的な取り組み

## 2. 母子保健事業【拡充】



⇒従来の母親学級の見直し

# ハイリスクグループ支援を開始

地域ニーズに応じた効果的な支援に向けて  
限られたマンパワーの効果的な活用・適切な手段の選択が必須

↓  
妊娠期からの支援のあり方について全体的な見直しへ

平成30年度

平成29年度まで

- 子育て栄養編
  - すこやかママ編
  - ママパパッキング
- 受講率低下

- ・育メン編 受講率変動なし
- ・参加者が他コースと重複している

- 
- ・教室を1つに集約し、より効果的に運営ができるように工夫をしていく。
  - ・広く周知することが望ましい内容は、妊娠届出時の面接時に周知していく。

受講者の年齢層に偏りあり  
(10代, 20代の受講率が低い)

- 高齢初産婦
- 不妊治療による妊娠で35歳以上初産婦それぞれ全ハイリスク妊婦の約2割を占める

ハイリスク妊婦教室の実施

【目的】

- ・孤立予防 ・親になる意識を高める
- ・出産後の赤ちゃんとの生活に関するイメージづくり

【ポピュレーションアプローチ】

ママパパサロン 8回/年

サタデーゆりかごサロン

(先輩ママ) 8回/年

※上記2つのサロンは、同日開催

【ハイリスクアプローチ】

こうのとりのサロン (高齢妊婦)

3回/年

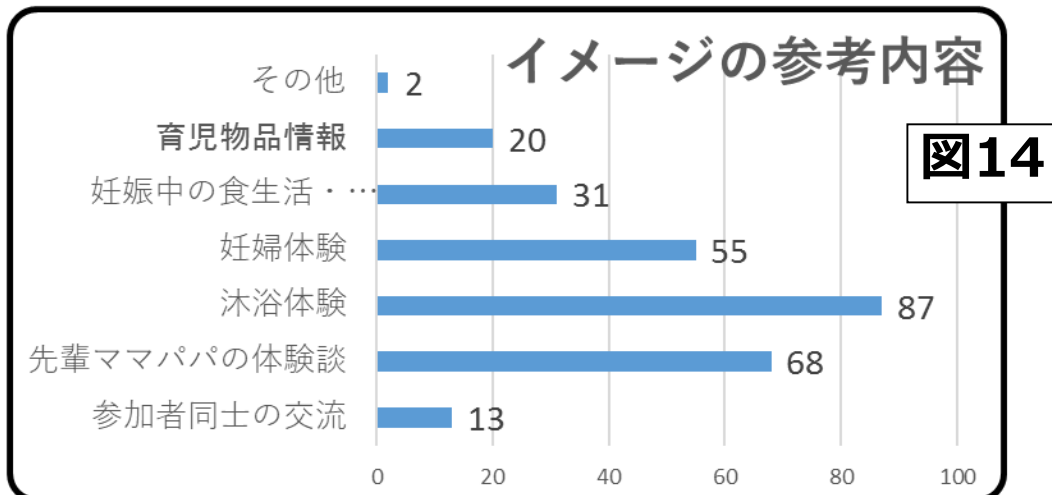
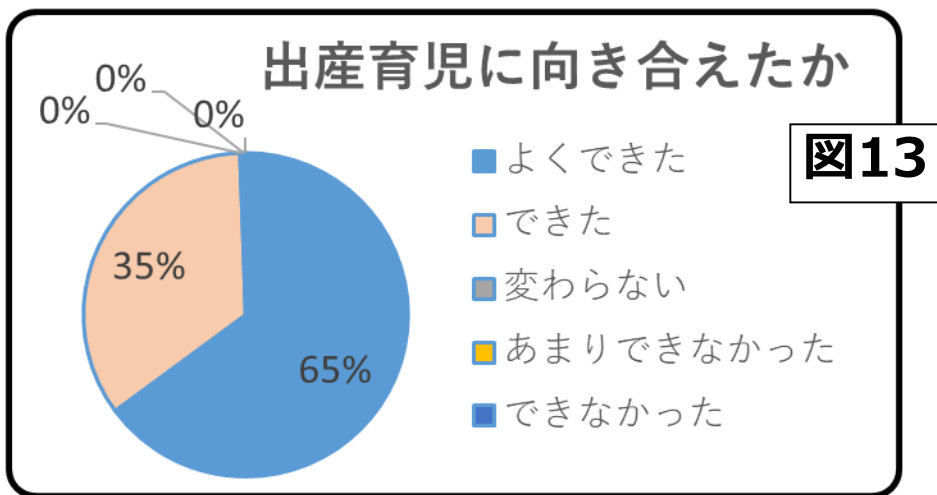
かんがるーサロン

(若年妊婦, 先輩ママ) 2回/年

# ママパパサロン平成30年度アンケート結果

## 【ポピュレーションアプローチ】

- 出産育児に向き合うことについて「よくできた」は65%、「できた」は35%であった。
- グループの方と知り合いになれた妊婦は4~11月は35%であったが、内容を変更して実施した1, 2月は**61%**となった。
- 育児に対しての具体的なイメージにつながったものとして、「沐浴体験」「先輩ママパパの体験談」「妊婦体験」が上位3つとなった。



設問回収数 356人 (設問回答率 97%)  
ママパパ全参加組数 367組

## 【ハイリスクアプローチ】

- かんがるーサロン, こうのとりのサロンでは, 同年代の妊婦同士の交流が良かったという意見があった。



# 8か月児相談事業

(平成30年度新規事業)

乳児期における相談支援を強化するため、保健師、助産師、  
歯科衛生士、栄養士等による育児相談、講話等を実施。

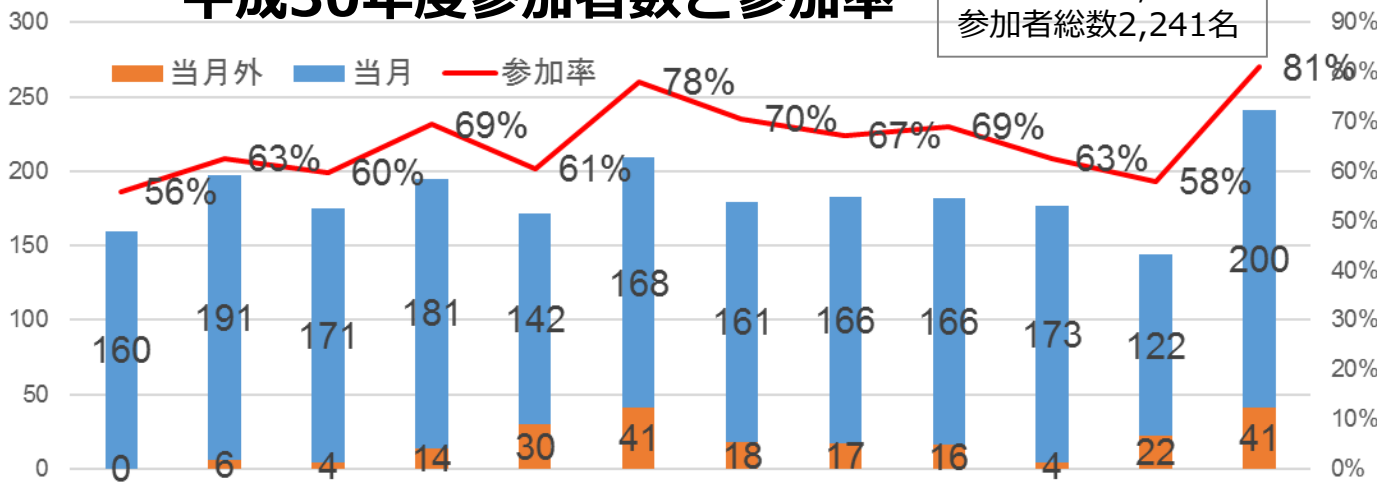
(対象者) 生後8か月児の乳児及び保護者 (実施日) 毎月4回



図15

## 平成30年度参加者数と参加率

対象者総数3,347名  
参加者総数2,241名

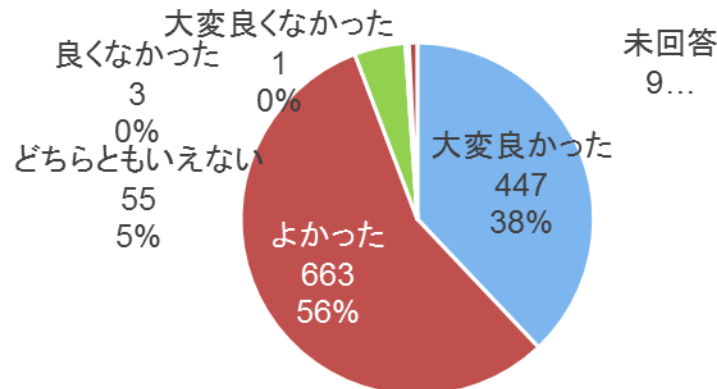


- 参加者総数は2,241名で参加率は約67%であった
- 相談結果の内訳は「終了」約97%「継続支援」約3%であった
- 継続支援の理由：「育児不安」「育児ストレス」

## 参加者の感想

(参加者アンケートより 回収率52.6%)

図16



- 参加者「大変良かった」「よかった」と約94%が回答している
- 理由では「口腔ケア」「離乳食の移行」について知った、「育児相談が安心した」と回答している



# 乳児家庭全戸訪問事業

柏市では、新生児（おおむね3か月未満）と産婦のいる家庭へ助産師または保健師が訪問する「**新生児・産婦訪問**」と、柏市で新生児訪問を受けていない生後4～5か月までの児のいる家庭へ看護師もしくは保健師が訪問する「**こんにちは赤ちゃん訪問**」を併せて、「**乳児家庭全戸訪問事業**」を実施しています。

平成29年より出生順位に関わらず、全数新生児訪問できるよう対象拡大し、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐことで孤立化を防ぎ、子育てに関する不安等を早期に相談・解消することで安心して子育てをできるよう、支援しています。また、要支援者を早期に発見し、必要な支援へつないでいます。

## 平成30年度 乳児家庭全戸訪問事業

対象者数：3,354件（平成29年8月～平成30年7月生まれ）

	面談あり	面談なし	合計
新生児訪問	2,764	—	2,764
こんにちは赤ちゃん訪問	432	99	531
合計	3,196	99	3,295

表3

結果(全体)

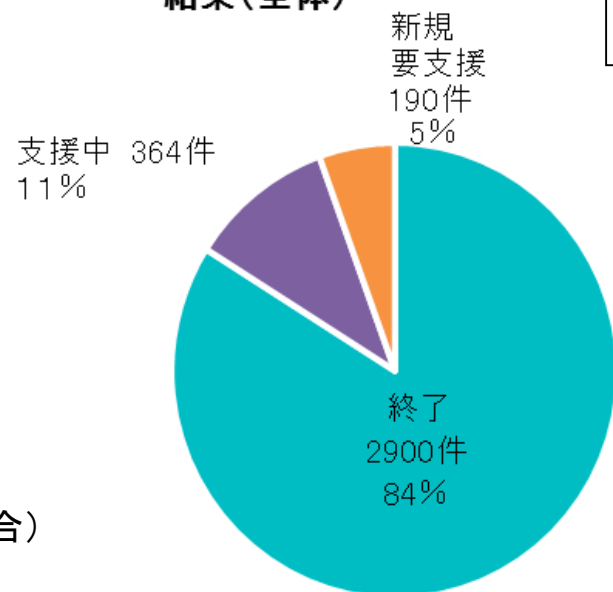


図17

訪問率98.2%（対象者のうち、訪問を実施した件数の割合）

面談率95.2%（対象者のうち、対面で会って対応した件数の割合）

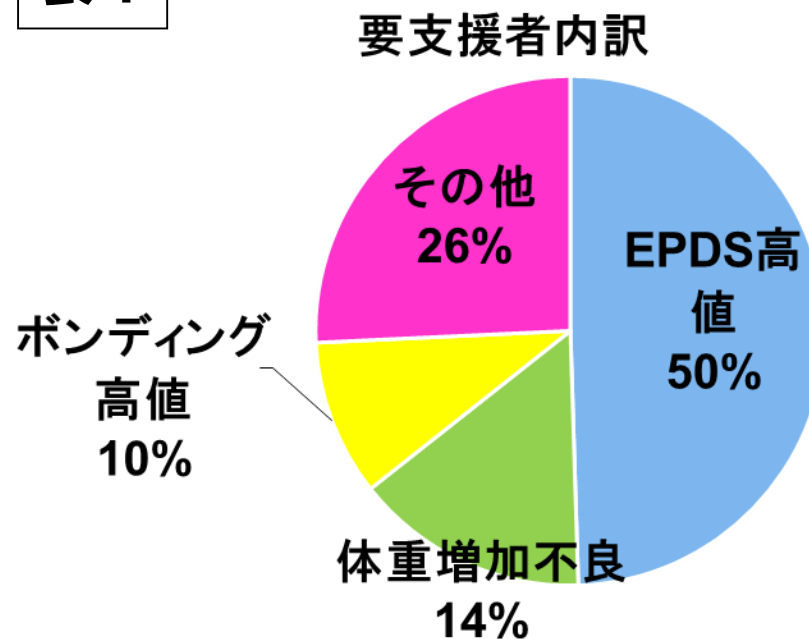
# 新生児訪問結果（要支援内訳）

平成30年4月～平成31年3月訪問件数：2481件

**表4**

要支援者 合計(件)	150	
内訳	件数	%
EPDS高値	75	50%
体重増加不良	21	14%
ボンディング高値	15	10%
その他	39	26%

**図18**



EPDS高値合計	(再掲) EPDS10番に得点あり	(再掲) ボンディング高値
75	30	36

EPDS高値の対象者のうち、問10番の自傷行為の項目に加点、ボンディング高値との関係が深かった。

# 思春期保健事業

学校・家庭・地域・医療・地域保健が連携し，子ども達が自ら心身の健康に関心を持ち，年齢や成長に応じた責任ある行動をとることができるよう，思春期保健を推進する。

健やか親子21（第2次）  
での位置づけ  
基本課題B 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

## ⇒ 思春期保健健康教育の実施

### ○保健師による講話

（思春期の体と心，性感染症，予期せぬ妊娠，メディアリテラシー，相談窓口の紹介等）

### ○体験学習（柏市民健康づくり推進員・主任児童委員と協力）

（妊婦ジャケット体験 ・赤ちゃん人形を用いたお世話体験 ・親子ふれあい体験）

n = 学校数	小学校 (n = 42)	中学校 (n = 21)	高等学校	計
平成30年度	1	16	0	15
平成29年度	1	13	1	15

表5

## ⇒ 思春期保健関係者会議の実施

年2回開催。思春期保健の推進における現状や課題の共有，連携支援等について検討。

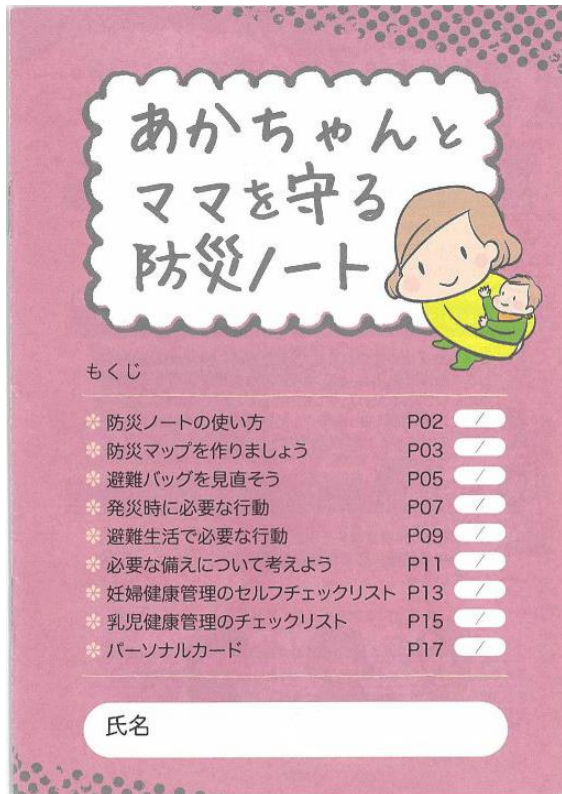
（出席者）柏市医師会，学校保健会，千葉県助産師会，グループSEC，柏市PTA連絡協議会，柏市民生委員児童委員協議会，柏市民健康づくり推進員連絡協議会，教育委員会，保健予防課，地域保健課

平成30年度の重点的な取り組み

### 3. 災害時母子支援に関する啓発【新】



# 「あかちゃんとママを守る防災ノート」による啓発



あかちゃんと  
ママを守る  
防災ノート

もくじ

- \* 防災ノートの使い方 P02
- \* 防災マップを作りましょう P03
- \* 避難バッグを見直そう P05
- \* 発災時に必要な行動 P07
- \* 避難生活で必要な行動 P09
- \* 必要な備えについて考えよう P11
- \* 妊婦健康管理のセルフチェックリスト P13
- \* 乳児健康管理のチェックリスト P15
- \* パーソナルカード P17

氏名 \_\_\_\_\_

妊娠届出書申請時，乳児家庭全戸訪問で配布。  
その他の母子保健事業での配布及び妊娠子育て  
相談センターに常設。

## 赤ちゃん和妈妈を守る 防災ノートの使い方

### 1 書き込みながら、我が家の防災を充実させていこう

このノートは1枚で1つの項目についてまとめています。表面で赤ちゃん和妈妈を守る防災ポイントを確認したら、裏面に「我が家の備え」について考えながら書き込んでいきましょう。

### 2 モノを備えるだけが防災ではありません

妊娠中や産後の女性や乳幼児は、災害時に特別な支援が必要とされる層です。とはいえ、地域の方も支援が必要な人の存在を知らなければ、助けたくても助けられず、支援がなかなか届きません。挨拶を通して地域に顔見知りを増やしたり、地域の防災訓練や防災イベントに参加するように心がけましょう。

### 3 ママと赤ちゃんの健康記録を追加していこう

妊婦・乳児の健康管理チェックリストは、セルフチェックをすることで受診時に必要な情報や受診の目安がわかるようになっています。



**防災マップを作りましょう**

1 自治体が配布しているハザードマップを入手しましょう。

2 自治体が発行する防災冊子や、地域の防災情報を集めましょう。

3 我が家の防災マップを作りましょう。

**必要な備えについて考えよう**

1 妊婦期の心身の特徴と備え

2 産前産後の心身の特徴

3 乳児期の心身の特徴

**妊婦健康管理のセルフチェックリスト**



# 災害時に求められる母子保健について職員研修実施

**目的：**母子保健または防災に携わる職種のスキルアップを目的として研修会を開催し，子育て世代の方が自助力や受援力を高められるよう啓発活動に反映

**実施日時：**平成30年9月25日(火)13:30～15:30

**内容：**①講演「災害時に求められる母子保健」  
～行政職にしかできないこと行政職だからできること  
神奈川県立保健福祉大学 吉田穂波教授  
②グループワーク  
「普段の業務の中で支援できること」

**参加者数：**34名（保健師等専門職，事務職，防災安全課職員）

# 令和元年度の重点的な取り組み予定





# 令和元年度の重点的な取り組み予定

## 1. 母子保健計画進捗管理 中間評価にむけたニーズ調査

## 2. 妊娠子育て相談センターの充実

- ・ハイリスクアプローチ  
関係機関，関係部署，医療機関（産科，小児科，精神科）等との連携等
- ・ポピュレーションアプローチ  
こども部関係課や関係機関との連携強化

## 3. 健康づくりを意識した地域活動，母子保健活動

- ・次世代の健康を育む保健対策の充実

## 4. 災害時母子支援体制の整備

- ・災害時対策について，母子保健事業での啓発強化
- ・災害時母子支援対応マニュアルの整備にむけて関係部署との協議

# 1. 母子保健計画進捗管理 中間評価にむけたニーズ調査

## 柏市母子保健計画（平成28年度から令和7年度まで）令和2年中間評価

### 【 基本理念 】 親子がともに健やかに育つまちづくり

#### 【 基本目標 】

1. 安心して妊娠・出産ができるまち 柏
2. 子どもの育ちと子育てが支えられるまち 柏
3. 子どもの健やかな成長を見守り，きめ細やかに支援するまち 柏

全38の指標を掲げて効果的に推進しています。以下は，抜粋の指標です。

**表6**

指標名	ベースライン	最終評価目標（10年後）
妊娠・出産について満足している者の割合	91.1%	95.0%
妊娠届出時の保健師等による面談率	41.4%	100%
新生児訪問の実施率	51.9%	95.0%
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3～6か月児82.1%	3～6か月児95.0%
	1歳6か月児78.2%	1歳6か月児95.0%
	3歳児70.8%	3歳児95.0%
母が育てにくさを感じている割合	3～6か月児21.4%	3～6か月児10.0%
	1歳6か月児24.6%	1歳6か月児16.0%
	3歳児33.0%	3歳児22.0%

## 2. 妊娠子育て相談センターの充実

切れ目のない支援を目指して

### 1) ハイリスクアプローチ

関係部署，関係機関，医療機関（産科，小児科，精神科）等との連携周産期メンタルヘルス支援体制の強化

### 2) ポピュレーションアプローチ

こども部関係課や関係機関との連携強化

子育て支援関係者会議等，子育て支援拠点等との連携，啓発の推進。

# 3.健康づくりを意識した地域活動, 母子保健活動

## 次世代の健康を育む保健対策の充実

ライフステージ別ポピュレーションアプローチの現状と課題を整理し、効果的効率的な実施にむけて環境を整備する。

⇒ライフステージ別ポピュレーションアプローチ  
体系図，実施計画の作成等

## 4. 災害時母子支援体制の整備

- 母子保健事業での啓発

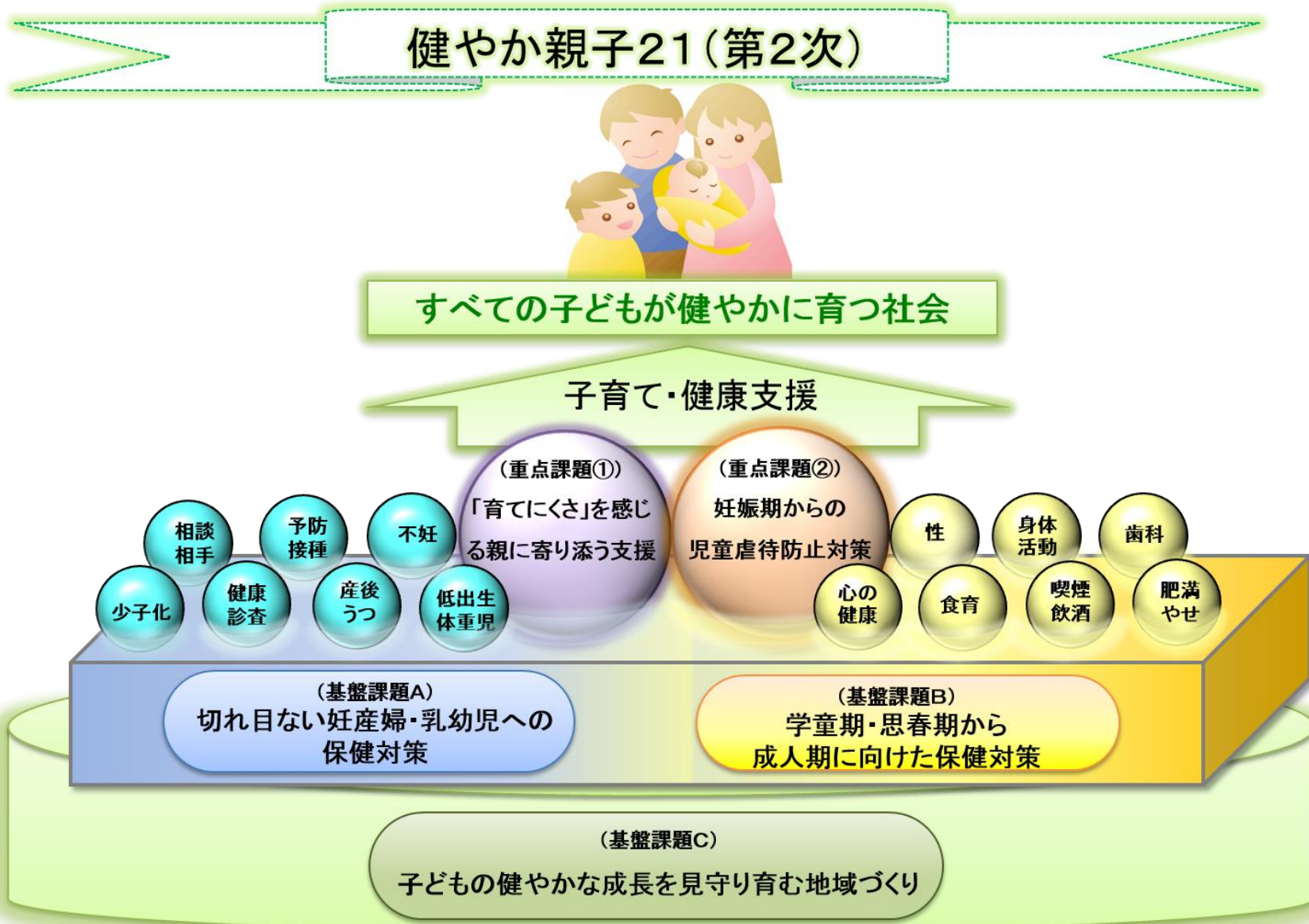
乳幼児のいる家庭の災害の備えについて学び、それを地域で伝える。

⇒ 7月に柏市民健康づくり推進員を対象に研修を実施  
地域での推進員自身の役割，母子への啓発の大切さを周知。

- 災害時母子支援対応マニュアルの整備

発災後に母子が置かれる状況等を想定し，適切な支援の実行性を伴うマニュアルの整備を進める。

# 参考)「健やか親子21(第2次)」のイメージ図



ご清聴ありがとうございました

